

令和5年度徳島県田園環境検討委員会
環境配慮実績報告書

徳島県 農山漁村振興課

令和6年3月

番号	採択年度	事業名	地区名(所在地)	工事内容	配慮対象	環境配慮	主な環境配慮の計画	環境配慮	主な環境配慮の実績	モニタリング結果等(予定)
						5原則		5原則		
8	H15	河川応急対策事業	長岸寺西(松茂町)	水門改修(取合水路含む)	在来水生植物(ヒシ、ハス等)	⑤代償	・コンクリート水路の側壁部及び底版部に植生ヤシマットを設置する。	⑤代償	・計画どおり(コンクリート水路の側壁部及び底版部に植生ヤシマットを設置)。	・R3.11に確認できず来年の繁茂期に確認予定
				水門改修(取合水路含む)	在来植生	④軽減/消失	・堤体法面部盛土に現況の植生土壌を使用する。	④軽減/消失	・計画どおり(堤体法面部の盛土に現況の植生土壌を使用)。	・R3.11に確認したが、確認できなかった。来春に再度確認予定
21	H17	基幹農道整備事業	板野中部2期(板野町)	道路	希少植物(コイカラン)	④軽減/消失 ⑤代償	・生育環境に配慮を検討する。	⑤代償	・工事により、喪失する田、畦の表土を取り置きしておき、工事後付近の同様の場所にもどした。	・周辺の農地等にて、コイカランの生育が確認できた。(R5)
32	H19	老朽ため池等整備事業	藤谷池(阿南市)	ため池堤体改修	水生生物(トブガイ)	②最小化 ④軽減/消失 ⑤代償	・工事に伴う落水に際して、溜水内に移動させる。	④軽減/消失	・計画どおり(工事期間中、浅瀬の水たまりを創設)。	・ため池水位上昇により確認できず。(R5調査)
39	H20	国営附帯県営農地防災事業	唐園(上板町・板野町)	用水のバイパス化	希少植物(サデクサ)	④軽減/消失	・直接的な影響は無いが、生育環境は保全する。	④軽減/消失	・計画どおり(現地発生土で埋戻)。	・周辺の農地等にて、サデクサの生育が確認できた。(R5)
				用水のバイパス化	希少植物(クロモ)	②最小化	・生育地付近の工事は、出来る限り冬期に実施。 ・生育している水路にかんがい期に水を流すことを、地元関係者に協力を求める。	②最小化	・計画どおり(登記の工事を実施し、地元関係者の協力により、かんがい期は現況開水路に用水を流下)。	・周辺の農地等にて、クロモの生育が確認できた。(R5)
43	H22	経営体育成基盤整備事業	坂野2期(小松島市)	ほ場整備	希少植物(ヒメミキ・クロモ) 希少水生動物(ヤマナガゴ・ヌマツ等)	②最小化	・生育環境保全のため、水路内に土砂が堆積する構造とする。 ・水路底のコンクリート張りとし、水路側面の多孔質化、フンド上の溜まりの設置等の水路構造とする。	②最小化	・計画どおり(水路断面の側壁上部を無ライニング(土羽)とすることで、土砂堆積が可能な環境を創出し、希少植物や水生動物の成育環境を保全した)。	・水路土羽部に植生を確認(R5) ・水路に土砂の堆積、及び水生動物を確認(R5)
				ほ場整備	希少植物(ミスワビ・クロモ等)	④軽減/消失	・水田土壌を再利用するとともに工事を冬季に実施し影響を軽減する。	④軽減/消失	・計画どおり(水田土壌を再利用するとともに、工事を冬季に実施することにより影響を軽減した)。	・畦畔や水路土羽等で植生を確認(R5)
48	H25	老朽ため池等整備事業	相名池(阿南市)	ため池堤体改修	希少植物(ミスマツハ)	④軽減/消失	・工事により影響のある水田の表土(ミスマツハの埋土種子を含む)に影響の無いところに仮置きし、工事後に戻す。	④軽減/消失	・表土の仮置を行った。堤体工事後に元の場所に戻す。	・対象地が休耕田となっており、植物の生育は未確認。(R5)
59	H30	経営体育成基盤整備事業	芳崎(阿南市)	ほ場整備(畦畔)	希少植物(ミス'カモシ、アゼ'スゲ)	④軽減/消失	・種子を採取し、個体と生育地の土壌と共に工事の影響のないところに移動しておき、工事後植戻し及び播種を行う。	④軽減/消失	・ミス'カモシ、アゼ'スゲの種子を採取後、播種し、生育状況のモニタリングを実施中。(R2~) ・今年度工事予定である箇所ミス'カモシの種子および個体を採取し保護育成を行った。(R3) ・R3年度より保護育成してきたミス'カモシの個体と保存していた種子を、地区内ほ場に移植および播種した。(R5)	・移植した個体と播種した箇所にて、種子の発芽は認められなかったため、引き続きモニタリングを行う。
61	H29	地盤沈下対策事業	藍住3期(藍住町)	用水のバイパス化・水路	魚類	③修正	・移動を妨げないよう、新設および付替え水路と現況水路との接合部を緩傾斜とする。	③修正	・水路敷高を現況と同等とし、水路の連続性を確保した。	未
				用水のバイパス化・水路	全般	④軽減/消失	・工事の際、濁水の流下、重機からの油流出、飛散に注意する。	④軽減/消失	・作業機械の点検整備により、重機からの油類の流出・飛散の防止に努めた。	-
				用水のバイパス化・水路	在来植生(コイヌガラン)	⑤代償	・生育場所の畦畔などの土を可能な限り工事に流用する。	⑤代償	・計画通り、生育場所の畦畔などの土を可能な限り工事に流用した。	未
62	H29	農道整備事業	伊沢中央2期(阿波市)	道路(周辺・法面)	在来植生	③修正	・工事によってダメージを受けた路線周辺の植生や、新設農道の法面を、在来種により緑化を行い自然植生の回復を図る。	④軽減・消失	・繁殖期を避けた施工計画により、工事による繁殖活動への影響を軽減した。	-
				道路(重機等)	全般	④軽減/消失	・工事の際、濁水の流下、重機からの油流出、飛散に注意する。	④軽減・消失	・工事の際、濁水の流下、重機からの油流出、飛散に注意した。	-
				道路	希少植物(イヌハギ)	④軽減/消失	・個体を生育地の土壌とともに工事の影響外へ移動し、工事後に戻す。	④軽減・消失	・繁殖期を避けた施工計画により、工事による繁殖活動への影響を軽減した。	-
				道路	希少植物(イヌハギ)	⑤代償	・個体と種子を採取し、工事の影響のない類似の環境へ移植及び播種する。	④軽減・消失	・繁殖期を避けた施工計画により、工事による繁殖活動への影響を軽減した。	-

番号	採択年度	事業名	地区名(所在地)	工事内容	配慮対象	環境配慮5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング結果等(予定)
64	H30	老朽ため池等整備事業	花園池(三好市)	ため池堤体改修	希少植物(コカメヅル)	④軽減/消失	・種子を採取し工事後播種するとともに、個体を土壌とともに避難し、工事後植戻りする。	④軽減/消失	・コカメヅルの個体及び表土を仮置きした。工事完成後、現地へ移植予定。	・プランターに移植した個体は生育確認できない(R3) ・R4春に堤体法面に自生していたがその後草刈りによって個体の確認ができない状況であるためR5春に再度現地確認を行う(R4) ・R5.8月に3株確認。3株とも施工範囲内であったため、一時的に他の場所に移植。
67	R2	経営体育成基盤整備事業	長生中央(阿南市)	ほ場整備(畦畔)	希少植物(ミスカモシグサ、アサゲ、アセサゲ、ウマシゲ、オグルマ)	⑤代償	・できる限り多くの個体を採取し栽培して、工事後、田畔に植え戻す。また、代替湿地の田畔に植え戻す。	⑤代償	・ミスカモシグサの種子採取を行い保管した(R4.5月) ・次年度(R5)施工範囲に生育しているミスカモシグサ、アセサゲ、オグルマの生育状況を確認(R4.5月) ・ミスカモシグサ・アセサゲの個体と種子を採取し、ほ場の畦に移植及び播種を行った。(R5.4月)	・モニタリングにて、ミスカモシグサの種子発芽と生育状況を確認。アセサゲの生育状況を確認。(R5)
				ほ場整備(畦畔)	希少植物(ミスオオハコ)	⑤代償	・ミスオオハコが生育している土壌を取り置かせておき、工事後、類似環境の田に再利用する。	⑤代償	・ミスオオハコの個体を採取し保護育成を行った(R4.8月~12月) ・R4.11月に開花 ・保護育成を継続中(R5)	未
68	R2	老朽ため池等整備事業	第一金清池(阿波市)	ため池堤体改修	希少植物(コカメヅル)	④軽減/消失	・工事までに個体を避難させ、プランターにより保護育成した個体及び現地採取した種子を播種育苗したコカメヅルを、工事後の堤体に再移植する。	④軽減/消失	・今年度工事区域内のコカメヅル1個体を採取し育成した(R4.6月) ・また、結実期に現地に生育している個体から種子の採取を行った(R4.11月) ・R4で採取したコカメヅルの生育状況のモニタリングを継続した。(R5) ・工事区域内全てのコカメヅル10個体を採取し育成を実施。(R5)	・現地採取したコカメヅル1個体の生育状況をモニタリングした(R4) ・9月に開花したが結実しなかった(R4) ・R4採取の個体は今年4月に発芽し、順調に生育した。(R5) ・現地採取したコカメヅル10個体のは8.9月に開花、11月に結実した。
				ため池堤体改修	魚類(モツゴ、シマヒレシノホリ)	④軽減/消失	・工事の際流入付近の浅瀬にピオトープ池的なものを造成し、在来水生動物の避難場所とする。	④軽減/消失	・R2、10月に地形測量のため完全落水を実施し、ほとんどの魚類を底層放流により、下流水域に避難させた。 ・その後、R3~R5に下流水域での魚類調査を実施。	・R5の調査において下流水域でモツゴ、シマヒレシノホリが多数採捕された。(R5)
				ため池堤体改修	魚類(モツゴ、シマヒレシノホリ)	④軽減/消失	・施工時の減水に併せて個体を採捕し、同一水系で第1金清池と類似した環境のため池に分散避難させ、工事後戻す。	④軽減/消失	・計画どおり(モツゴ、シマヒレシノホリ)を採捕し、同一水系で第1金清池と類似した環境のため池(第2金清池)に分散避難させた。(R2) ・R2に、下流水域に避難させた配慮対象種(モツゴ・シマヒレシノホリ)の生息状況を確認するため現地調査を実施。(R3・R4・R5) ・R4の調査では、第2金清池でモツゴが確認できていないため、R5の下流水域での調査で採捕したモツゴを第2金清池に移植する。(R5)	・R3年度の調査では、下流水域で、シマヒレシノホリが多数採捕されたが、モツゴは採捕できなかった(R3) ・R4年度の再調査において下流水域でモツゴ、シマヒレシノホリが多数採捕された(R4) ・R5の魚類調査において下流水域でモツゴ、シマヒレシノホリが多数採捕された。(R5) ・下流水域で採捕したモツゴ25尾を、第2金清池に移植した。(R5)
69	R2	老朽ため池等整備事業	オソノ池(美馬市)	ため池堤体改修	希少植物(コカメヅル)	④軽減/消失	・工事までに個体を避難させ、プランターにより保護育成した個体及び現地採取した種子を播種育苗したコカメヅルを、工事後の堤体に再移植する。	⑤代償	・個体を避難させ、プランターにより保護、育成を実施中。	未
				ため池堤体改修	希少植物(ミヤコイハ)	④軽減/消失	・可能なかぎり個体が工事の影響を受けないよう、工事の際、工事業者に希少植物の生育場所の周知、保護についての啓発を行う。	④軽減/消失	・計画どおり(施工業者に対して保護の啓発等を行った。)	-
				ため池堤体改修	希少植物(ミヤコイハ)	④軽減/消失	・工事の際、仮設道路の位置や重機の仮置き位置が個体の生育箇所に可能なかぎり影響を及ぼさないよう配慮する。	④軽減/消失	・計画どおり(施工業者に対して保護の啓発等を行った。)	-
				ため池堤体改修	全般	④軽減/消失	・工事の際、濁水の流出、重機からの油類の流出・飛散に注意する。	④軽減/消失	・計画どおり(施工業者に対して保護の啓発等を行った。)	-
73	R3	老朽ため池等整備事業	若松(海陽町)	堰改修(仮設計画)	希少植物(ユキモチソウ、ミナオシ、ミスマツバ、ミスネコノオ、スズメハコバ、ノカナ)	④軽減/消失	・仮設道路盛土搬入による道路用地をできる限り少なくし、運搬車両による粉塵等による希少植物の生育環境への影響を軽減する。また、希少植物の生育場所にマーキングを行い、工事担当者への注意喚起を行う。	④軽減/消失	・希少植物の保護区域を設定し、工事担当者への注意喚起を行った。	-
				堰改修(重機)	希少植物(ユキモチソウ、ミナオシ、ミスマツバ、ミスネコノオ、スズメハコバ、ノカナ)	④軽減/消失	・低公害型の作業機械の使用と重機からの油類の流出、飛散に注意し、希少植物への影響を軽減する。	④軽減/消失	・計画どおり(低公害型の作業機械を使用し、油類の流出、飛散に注意した。)	-
				堰改修(全般)	全般	④軽減/消失	・工事中の土砂流出や濁水流出を最小限にとどめ、下流の水生動物への影響を軽減する。	④軽減/消失	・計画どおり(シルトフェンスを設置し、汚濁水の流出を防止した。)	-

番号	採択年度	事業名	地区名 (所在地)	工事内容	配慮対象	環境配慮 5原則	主な環境配慮の計画	環境配慮 5原則	主な環境配慮の実績	モニタリング 結果等・(予定)
						④軽減/消 失		④軽減/消 失		
77	R4	老朽ため池等整備事業	古志田池 (吉野川市)	ため池堤体改修	希少植物(コカメヅル)	④軽減/消 失	・コカメヅルの個体と種子を採取し、工事期間中個体を育成し、種子から苗の増殖を行い、工事後の堤体に植え戻す。	④軽減/消 失	・種子採取後、播種し保護育成中(R4.11月) ・次年度(R5)に個体採取を予定 ・R4に種子を播種したコカメヅルの生育状況のモニタリングを継続。(R5.4~7月) ・工事の影響を受けるコカメヅル19個体を採取し、保護育成を行った。(R5.6月)	・R4に種子を播種したコカメヅルの発芽を確認。(R5.4月) ・採取した19個体についての生育状況のモニタリングを引き続き行う。(R5)

事業名	基幹農道整備事業	地区名	板野中部2期	市町村	板野町
事業所名	東部農林水産局<徳島>	課名	農村整備第二担当	採択年度	H17

環境配慮の内容:⑤代償

希少植物(コイヌガラシ)について、主な環境配慮の計画として生育環境に配慮を検討するとしており、主な環境配慮実績としては工事により喪失する田、畦の表土を取り置きしておき、工事後付近の同様の場所にもどした。

<モニタリング結果>

令和5年12月7日(木)に現地周辺を踏査したところ、希少植物(コイヌガラシ)の生育を確認した(下記写真①)。

また、周辺の農地や水路など多数の箇所でも確認した。



事業名	国営附帯県営農地防災事業	地区名	唐園	市町村	上板町、板野町
事業所名	東部農林水産局<徳島>	課名	農村整備第二担当	採択年度	H20

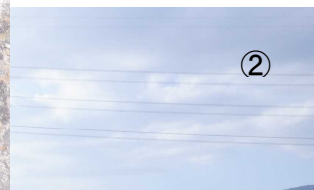
環境配慮の内容:④軽減/消失

希少植物(サデクサ)について、主な環境配慮計画として直接的な影響は無いが、生育環境を保全することとなっており、主な環境配慮の実績として計画どおり(現地発生土で埋戻)となっている。

<モニタリング結果>

令和5年12月7日(木)に現地周辺を踏査したところ、落葉した希少植物(サデクサ)の生育を確認した(下記写真①, ②)。

また、個体を確認した周辺の湿地でも生育を確認した。



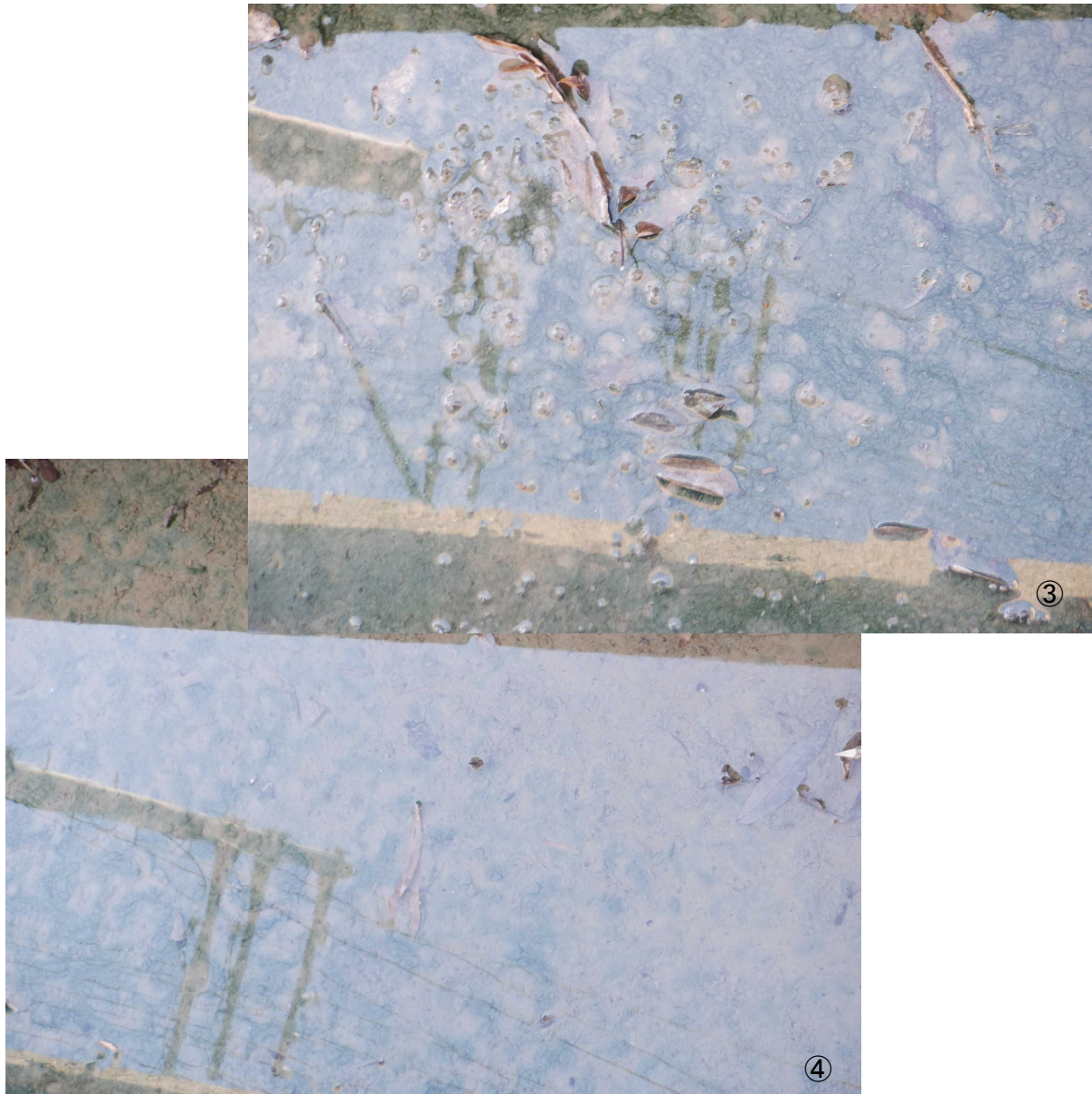
事業名	国営附帯県営農地防災事業	地区名	唐園	市町村	上板町、板野町
事業所名	東部農林水産局<徳島>	課名	農村整備第二担当	採択年度	H20

環境配慮の内容:②最小化

希少植物(クロモ)について、主な環境配慮の計画として生育地付近の工事は、出来る限り冬期に実施すること及び生育している水路にかんがい期水を流すことを地元関係者に協力を求めることとなっており、主な環境配慮の実績として計画どおり(冬期の工事を実施し、かんがい期は現況開水路を流下)となっている。

<モニタリング結果>

令和5年12月7日(木)に現地周辺を踏査したところ、希少植物(クロモ)の生育を確認した(下記写真③、④)。



事業名	経営体育成基盤整備事業	地区名	芳崎	市町村	阿南市
事業所名	南部総合県民局農林水産部<阿南>	課名	農村整備第一担当	採択年度	H30

環境配慮の内容:④軽減/消失

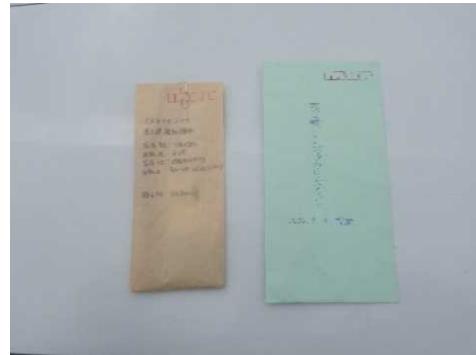
ミズタカモジグサの種子を採取し、苗の生産を行う。また、工事予定地のミズタカモジグサの個体を掘取り育成、維持管理し、生育状況のモニタリングを行う。

④軽減/消失

R3年度より保護育成してきたミズタカモジグサの個体と保存していた種子を、地区内ほ場に移植および播種した。



(1)ミズタカモジグサ生育状況(R4.5.26)



(2)種子採取状況(R5.9.22)



(3)ミズタカモジグサ個体移植状況(R5.9.22)



(4)ミズタカモジグサ種子播種状況(R5.9.22)

モニタリングの結果、移植した個体と播種した箇所にて種子の発芽は認められなかった。来年度以降も引き続きモニタリングを行う予定。



(5)個体の消失状況(R5.12.20)



(6)種子の発芽無し(R5.12.20)

事業名	経営体育成基盤整備事業	地区名	長生中央	市町村	阿南市
事業所名	南部総合県民局農林水産部<阿南>	課名	農村整備第一担当	採択年度	R2

環境配慮の内容:⑤代償

できる限り多くの個体を採取し栽培して、工事後、田畔に植え戻す。また、代替湿地の田畔に植え戻す。

植物専門家の指導により、地元の小・中学生と希少植物(アゼスゲ、ミズタカモジグサ、オグルマ、フサスゲ、カワヂシャ)の個体及び種子の採取を行い、地区内のほ場に移植した。



(1)希少植物の個体採取状況(R5.4.30)



(2)希少植物の個体採取状況(R5.4.30)



(3)ミズタカモジグサの個体移植状況
(R5.5.13)



(4)採取したミズタカモジグサの種子播種状況
(R5.5.13)

地区内ほ場に移植したミズタカモジグサの個体及び播種した種子の生育状況のモニタリングを行った。



(5)播種したミズタカモジグサの発芽確認
(R5.6.8)



(6)移植したミズタカモジグサの生育状況
(R5.6.8)

事業名	経営体育成基盤整備事業	地区名	長生中央	市町村	阿南市
事業所名	南部総合県民局農林水産部<阿南>	課名	農村整備第一担当	採択年度	R2

環境配慮の内容:⑤代償

ミズオオバコが生育している土壌を仮置きしておき、工事後、類似環境の田に再利用する。

R4年度に試験的に採取し保護育成していたミズオオバコについて、生育状況のモニタリングを継続した。



(1)ミズオオバコの個体採取状況(R4.8.22)



(2)ミズオオバコの植替え状況(R4.10.2)



(3)ミズオオバコの開花状況(R5.4.2)



(4)ミズオオバコの開花、生育状況(R5.10.5)

事業名	老朽ため池等整備事業	地区名	第1金清池	市町村	阿波市
事業所名	東部農林水産局<吉野川>	課名	農村整備担当	採択年度	R2

環境配慮の内容:④軽減/消失

工事区域内の全てのコカモメヅルの個体を採取し、保護育成を行う。

④軽減/消失

工事区域内の全てのコカモメヅル10個体を採取し、生育状況のモニタリングを実施。



(1)コカモメヅルの個体採取状況(R5.7.10)



(2)採取したコカモメヅル10個体(R5.7.10)



(3)8月～9月にかけてに開花した(R5.9.9)



(4)11月に結実し袋果をつけた(R5.12.9)

令和4年に採取したコカモメヅル1個体の生育状況のモニタリングを継続した。



(5)令和5年4月に発芽した(R5.4.1)



(6)8月～9月にかけてに開花した(R5.9.18)

事業名	老朽ため池等整備事業	地区名	オソノ池	市町村	美馬市
事業所名	西部総合県民局<美馬>	課名	農村保全担当	採択年度	R2

環境配慮の内容:④軽減/消失

希少植物(コカモメヅル)の個体を土壌とともに採取、保護育成し、工事後に植戻しする。

④軽減/消失

令和5年6月19日に、希少植物(コカモメヅル)の事前調査を実施し、確認された2個体を土壌とともに採取し、保護育成を行った。



(1)コカモメヅルの個体を土壌とともに採取



(2)プランターに採取



(3)育成状況 (R5.7.21)



(4)育成状況 (R5.10.12)

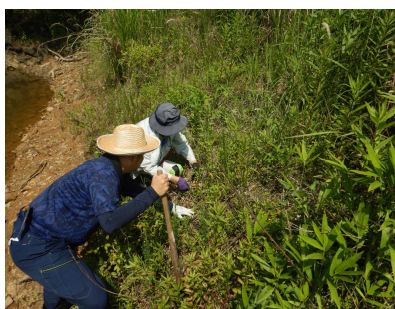
事業名	老朽ため池等整備事業	地区名	古志田池	市町村	吉野川市
事業所名	東部農林水産局<吉野川>	課名	農村整備担当	採択年度	R4

環境配慮の内容:④軽減/消失

コカモメヅルの個体と種子を採取し、工事期間中個体を育成し、種子から苗の増殖を行い、工事後の堤体に植え戻す。

④軽減/消失

令和5年6月19日、工事の影響を受けるコカモメヅルの個体を採取し、保護育成を行った。



(1)コカモメヅルの個体採取状況(R5.6.19)



(2)コカモメヅル19個体採取(R5.6.19)



(3)コカモメヅルの個体生育状況(R5.8.12)



(4)コカモメヅルの個体生育状況(R5.11.19)

令和4年に種子を播種したコカモメヅルの生育状況のモニタリングを継続した。



(5)播種したコカモメヅルの発芽状況(R5.4.18)



(6)播種したコカモメヅルの生育状況(R5.7.26)